

えにわ 市議会だより

No. 120

令和5年5月1日 発行

令和5年 第1回 定例会

議決した議案	P2~4
陳 情	P4
議案等審議結果	P4
一般質問	P5~9
勇退議員のご紹介	P9
代表質問	P10~13
議会日誌等	P14



第三者委員会に係る協議会 (2月27日)



第35回 恵庭クロスカントリースキー大会開会式 (2月19日)



予算審査特別委員会 個別質疑 (3月2日)



恵庭市議会議場コンサート (試行) (2月16日)



第1回定例会で提案された令和5年度の各会計予算を可決しました。
本年度の予算は、『新たな時代に向かって着実に歩みつける令和5年度予算』として
重点施策である5本の柱を中心に編成されています。議会としても、計画された事業や
施策の推進に向け、今後とも課せられた役割を果たすべく取組んで参ります。

市議会facebook
アクセスQRコード



令和5年度各会計予算案等33件の議案を可決

令和5年 第1回定例会を終える

令和4年度補正予算

令和5年恵庭市議会第1回定例会は、2月16日から3月20日までの33日間の会期で開催されました。

今定例会では、令和5年度の各会計歳入歳出予算をはじめ、令和4年度の補正予算、条例の制定及び一部改正などの議案33件、決議案2件が提案され、原案通り可決（同意含）されました。

一般質問は2月21日、22日、24日の3日間行われ、設置された予算審査特別委員会は3月1日から3日には各会計歳入歳出予算の個別質疑が、3月14日から15日には各会派による代表質問と採決が行われました。

前定例会で閉会中の審査とされていた3件の陳情は、審査の結果3件とも不採択となり、今定例会に、市民の皆様から提出された陳情3件は、各委員会に付託され、審議の結果、同じく3件とも不採択となりました。

議決した議案

令和5年度予算

一般会計・特別会計・水道事業会計・下水道事業会計など全10会計の歳入歳出予算額及び議

決状況は下表（前年度予算額は当初予算額）に記載したとおりです。
本予算は、委員19人の予算審査特別委員会を設置して審査を行い、その後本会議に諮り、可決されました。

令和5年度 各会計歳入歳出予算総括表

(単位:千円・%)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	増減率	議決状況	
一般会計	30,965,000	30,338,000	627,000	2.1	賛成多数	
特別会計	国民健康保険	6,554,799	6,913,237	▲358,438	▲5.2	全会一致
	後期高齢者医療	1,155,234	1,143,906	11,328	1.0	全会一致
	介護保険	5,260,320	5,123,227	137,093	2.7	全会一致
	土地区画整理事業	77,162	70,275	6,887	9.8	全会一致
	土地取得事業	515	513	2	0.4	全会一致
	墓園事業	86,839	88,966	▲2,127	▲2.4	全会一致
	駐車場事業	45,534	40,429	5,105	12.6	全会一致
小計	13,180,403	13,380,553	▲200,150	▲1.5		
水道事業会計	2,218,090	2,353,055	▲134,965	▲5.7	全会一致	
下水道事業会計	4,670,451	4,646,867	23,584	0.5	全会一致	
合計	51,033,944	50,718,475	315,469	0.6		

一般会計（第10号・11号）

まちづくり推進基金積立金、障がい者給付費、子育て基金積立金、出産・子育て応援事業費、恵浄殿改修事業費、恵庭小学校エレベーター新設事業費、学童クラブ運営費、こどもの安全・安心対策支援事業費、スクールバス管理費ほか合計22億4817万1千円の補正としたものです。

国民健康保険特別会計

（第2号）

国民健康保険支払準備基金に利子配分金の積立を行うため、4千円を増額し総額69億1369万8千円としたものです。

土地区画整理事業特別会計

（第1号）

恵庭駅西口土地区画整理事業費に、精算金の一括償還があったことから、一般会計繰出金を増額したものです。

水道事業会計（第2号）

地方公営企業法施行令第17条に基づき、令和5年度に実施予

定の配水管更新工事の早期発注を行うため、債務負担行為として8613万円を計上したものです。

▼下水道事業会計(第2号)

地方公営企業法施行令第17条に基づき、令和5年度に実施予定の管渠布設工事の早期発注を行うため、債務負担行為の限度額に960万円増額補正し、2億8460万円に改めたものです。

(以上5件 全会一致)

人事

▼恵庭市公平委員会委員の選任の同意について

野口宗英氏(再任)任期満了に伴い、再任に同意したものです。任期は4年です。(同意 全会一致)

条例

▼恵庭市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について

「行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律」が改正され、行政手続を原則オンライン化するために、必要な事項を定めるよう改められたことから、改正法に合わせ条例を改正したものです。

▼恵庭市手数料徴収条例の一部改正について

「都市の低炭素化の促進に関する法律施行規則」等の一部改正に伴い、「低炭素建築物新築等計画認定」、「低炭素建築物新築等計画変更認定」及び「建築物エネルギー消費性能向上計画認定」、「建築物エネルギー消費性能向上計画変更認定」の手数料の改正、並びに「誘導仕様基準」の手数料の新設を行ったものです。

▼恵庭市国民健康保険条例の一部改正について

地方税法施行令の改正により、令和4年度から国民健康保険の法定限度額の基礎課税額分が2万円、後期高齢者支援金等課税額分が1万円引き上げられたことから改正を行ったものです。

▼恵庭市体育施設条例の一部改正について

駒場体育館が、本年3月31日をもって閉館したことから、関係条文の削除を行ったものです。

▼恵庭市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について

国の「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」の一部改正に伴い、本市に

おける「放課後児童健全育成事業(学童クラブ)」については、国の基準に合わせ改正を行ったものです。

▼恵庭市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について

国の「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」の一部改正に伴い、本市における「家庭的保育事業等(地域型保育事業)」についても、国の基準に合わせ改正を行ったものです。

▼恵庭市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準に関する条例の一部改正について

国の「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等運営に関する基準」の一部改正に伴い、本市における特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業についても、国の基準に合わせ改正を行ったものです。

▼恵庭市花と緑の記念日を定める条例の制定について

昨年本市で「第39回全国都市緑化北海道フェア」が開催されたことを記念し、「恵庭市花と緑の記念日」を制定したものです。

▼恵庭市道路占用料徴収条例の一部改正について

令和5年4月1日より道路法

施行令に定める占用料の一部が改正されることに伴い、国に準拠して改正を行ったものです。

▼恵庭市都市公園条例の一部改正について

都市公園の使用料の算定根拠の公共工事設計労務単価等が変動していることや、占用料の算定根拠の恵庭市道路占用料徴収条例の一部が、令和5年4月1日から改正されたことから、所要の改正を行ったものです。

▼恵庭市営住宅条例の一部改正について

既存借上型市営住宅制度の見直し等に伴い、関係条項を改正したものです。

▼恵庭市国民健康保険条例の一部改正について

健康保険法施行令の一部改正による出産育児一時金の支給額の増額に伴う改正をしたものです。

▼恵庭市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について

令和3年に改正された「個人情報の保護に関する法律」により、令和5年4月1日以降、同法による個人情報保護制度が全国の市町村に直接適用されることから、法により一部委任された事項について規定するため、本条例の制定を行ったものです。(以上13件 全会一致)

▼個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

令和3年の「個人情報の保護に関する法律」の改正に伴い、「恵庭市個人情報の保護に関する法律施行条例」を廃止することから、当該条例を引用している条例について、所要の改正を行ったものです。

▼恵庭市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

「個人情報の保護に関する法律」の改正に伴い、令和5年4月1日から、地方公共団体が保有する個人情報については、同法の規定が適用となりますが、地方公共団体の議会は、同法の適用対象から除かれていることから、議会が保有する個人情報の取扱いについて条例を制定したものです。(以上2件 賛成多数)

その他の議案

▼市営住宅恵央団地6号棟新築工事の内建築工事の請負契約の変更について

昨年締結した当該建築工事の請負契約について契約金額の変更について議決を求めたものです。(以上1件 全会一致)

決 議

▼伊藤雅暢議員に対する辞職勧告決議

第三者委員会からの中間報告では、伊藤雅暢議員の市職員への言動は、業務の適正な範囲を超過したもので、自己の意に沿わない言動をした市職員を感情的に追求し、叱責し、侮辱するなどの行為があり、この事は精神的苦痛を与えるものであり、ハラスメント行為であると評価されるとした。この行為により市職員及びご家族の人生設計を狂わせたと共に、議会の信頼を失墜させた責任は、議員としての資質を持ち合わせていないと言わざるを得ず厳しく非難されるものであることから、議員の職を辞すべきであり、伊藤雅暢議員に議員辞職勧告を決議したものです。

▼恵庭市議会のハラスメント根絶に関する決議

恵庭市議会議員は、昨年惹起した市職員に対するハラスメント行為の責任を重く受け止め、深く反省し、私達は市民から選挙で選ばれた事を改めて自覚し、「恵庭市議会ハラスメント根絶条例」を遵守する事を決意し次の事項に取り組みことを誓うものです。

1 意識変革のため専門家によ

る定期的なハラスメント研修受講の義務化

2 一元的に対応できる窓口設置（外部委託）

3 職員及び議員間による定期的なアンケート調査の実施
（以上2件 賛成多数）

陳 情

不採択 6件

▼岸田政権が進める「大軍拡大増税」に反対する意見書の提出を求める陳情書

▼加齢性難聴への補聴器購入のための助成を求める陳情

▼新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを「5類」に移行しても、医療機関や感染者への公的支援が後退しないことを求める意見書の提出を求める陳情書

▼パワハラ問題における市議会の迅速かつ適切な対応と不当な飲食費の返還を求める陳情書

▼議員定数の削減を行わず、21名の体制を維持することを求める陳情書

▼市議会議員のパワハラ問題の全容解明と市民への公開説明を求める陳情書
（以上6件 賛成少数）

※この表は賛否が分かれた案件のみ掲載しています。

議案等審議結果

議決年月日	議員名等	議案名等	議決結果	自民党			公明党		自民党	歩む会		民主・春風の会		諸派	自民党								
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
				小橋 薫	長谷文子	南出典彦	宮利徳	石井美季	松島 緑	生本富士代	野沢宏紀	前田孝雄	新岡知恵	柏野大介	武藤光一	澁谷敏明	伊藤雅暢	市川慎二	岩井利海	川股洋一	川原光男	林謙治	鷹羽 茂

※早坂貴敏議員は、令和4年11月17日付けをもって恵庭市議会議員を辞職しています。

※令和4年12月22日付けで、清和会と恵義会と岩井議員で、会派「恵庭市議会自由民主党議員団：通称 自民党」を結成しています。なお、同日付けで、小橋議長は諸派となりましたが、3月21日付けで合流しています。

3/20	個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/20	恵庭市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/20	岸田政権が進める「大軍拡大増税」に反対する意見書の提出を求める陳情書	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3/20	加齢性難聴への補聴器購入のための助成を求める陳情	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3/20	新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを「5類」に移行しても、医療機関や感染者への公的支援が後退しないことを求める意見書の提出を求める陳情書	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3/20	パワハラ問題における市議会の迅速かつ適切な対応と不当な飲食費の返還を求める陳情書	不採択	議	×	×	×	×	×	×	除	×	○	○	×	×	除	×	×	×	×	×	×	×
3/20	議員定数の削減を行わず、21名の体制を維持することを求める陳情書	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
3/20	市議会議員のパワハラ問題の全容解明と市民への公開説明を求める陳情書	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3/20	令和5年度恵庭市一般会計予算	原案可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/20	伊藤雅暢議員に対する辞職勧告決議	原案可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○
3/20	恵庭市議会のハラスメント根絶に関する決議	原案可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

凡例：議……議長 ○……賛成 ×……反対 欠……欠席 除……除斥 退……退席

一般質問・代表質問

(予算審査特別委員会)



「第1回定例会(初日)の議場」

第1回定例会の一般質問では8名の議員が、また予算審査特別委員会の代表質問では、4党派4名の委員が、市の行財政や事業施策の進捗状況、更には、まちの将来展望等について様々な視点から質問をおこないました。

一般質問は、5ページから9ページに、代表質問は10ページから13ページに要約文を掲載しています。各議員の氏名横等に添付しているQRコードに、タブレットやスマートフォンからアクセスすることで、今定例会の各議員の一般質問や代表質問の全てを視聴することができますので、ご覧ください。



自由民主党議員団

前田孝雄

議員



少子化対策の今後の方 向性について

問 少子化は、未婚率の上昇と結婚後に女性が産む子どもの数が減っていることが主な原因と思いますが、本市独自の少子化対策に向けた今後の取組について伺います。

答 本市の合計特殊出生率は、上昇傾向にあり、北海道や全国を上回る状況となっております。本市では、「希望を持って子育てしたくなるまち」を目指し、妊娠・出産・子育て・教育など切れ目のない支援により、安心して子育てできる環境整備の推進に努めてまいります。

問 今後の少子化対策として、本市における出生数の増加は厳しいと思えますが、子育てしやすいまちえにわの価値を高め、若い子育て世代の移住促進に取り組むことが、大変重要と思えますが所見を伺います。

答 近年の移住希望世帯は比較的若い世代の方が多い状況にあり、移住促進策において、子どもが居る東京圏からの世帯へ支援金を加算できるように変更し、施策の充実を図っています。今後多様な移住希望者のニーズに応えるため、移住事業を引き続き実施し、S

NSの活用など若い世代に向け、新たなPR手法なども取り入れ、事業促進に努めてまいります。



えにわっこ応援センターの入口

問 安心して子どもを産み、子どもを育てる環境づくりのため、横断的な少子化対策を推進する「えにわっこ応援センター」の役割は極めて大きいと思えます。所見を伺います。

答 これまで保健センターにあった母子保健、子ども未来部にあつた児童福祉を一体化し、ワンストップで専門的に対応しながら、子育て環境の充実を図ってまいります。今後も地域における子育て支援や教育保育環境の整備、子育てと仕事の両立支援などに努めるほか、働き方改革など社会環境の変化への対応など、総合的な施策の推進に努めてまいります。

◆その他の質問項目

・本市の少子化の現状と課題について、子育て支援サービスについて、働き方改革、特に男性の育児休業について



自由民主党議員団

南出典彦

議員



新たな働き方に対応した 企業誘致などについて

問 ワークেশョン、サテライトオフィスの、その後の取組について伺います。

答 ワークেশョンについては、道とも連携しながら、恵庭への誘致の取組を進めるとともに、基本方針の策定に向け、目的やターゲットの明確化、市内事業者との連携等についての基本的な考えをまとめるため、整理を行っています。

サテライトオフィスの取組としては、令和3年度のサテライトオフィス等立地意向確認調査で本市に興味を示した企業数社と、誘致に向けた取組を進めているところであります。

問 以前、商店街の空き店舗を活用したサテライトオフィスの提案をさせていただきましたが、その後の具体的な取組について伺います。

答 これまで実績はありませんが、対象となる物件の把握や資料の整理に努めており、空き店舗の活用についても、今後積極的に対応して参りたいと考えています。



ワークেশョン
イメージスナップ

問 ともに新たな働き方に対応した取組ですが、あまり進んでいないと感じています。従来の企業誘致施策から脱却し、観光協会と連携した新たな取組を期待しますが所見を伺います。

答 ご指摘を重く受け止めております。有名な観光地の小樽や富良野などと違い、恵庭は全国的に知名度が低く企業としてはイメージできないのかと考えております。緑化フェアがなければ花というキーワードでまちづくりを進めており、景勝地も沢山ありますので、観光協会とも連携し市内の企業や飲食店等々にも働きかけをした中で、これから展開していきたいと思っております。サテライトオフィスは空き店舗を活用しながら、仕事ができる環境づくりを支援して参ります。



自由民主党議員団

川股洋一

議員



有害鳥獣対策について

問 エゾシカの主な生息地に北海道大演習場があげられると思いますが、この大演習場の中での駆除について、市の考え方を伺います。

答 令和2年度から自衛隊の協力を頂き、演習場内の生息数調査を行い、毎年10頭から30頭程度の群れを複数確認しています。

演習場内での対策は非常に効果的であり、他市にまたがる演習場は、自衛隊の協力などをはじめ、道や近隣市などとも連携を図りながら、広域的な範囲で対策について協議を行って参りたいと考えています。

問 アライグマ駆除の講習会を農業者向けに開催しますが、農業者に限定した理由と、講習会を受講すれば実際に駆除ができるのかを伺います。

答 農業被害を受けている農業者の方々より、自分たちでアライグマの駆除を実施できないかとの意見が寄せられたことから、講習会を開催することにしました。講習会の内容は、アライグマの生態と捕獲方法、箱わなを使用した実技講習を行い、受講後に

生活環境課で防除従事者の登録をしていただくことで、駆除が可能となっております。



駆除対象鳥獣の
アライグマ

問 防除従事者の作業範囲と捕獲したアライグマをどのように扱うのかを伺います。

答 作業範囲としては、箱わなの設置から捕獲、処分、一時保管用の冷凍庫への搬入までを行っていただきます。捕獲したアライグマの処分は、電気止め刺しですが、作業の安全性を考慮し二酸化炭素を用いた処分方法について検討しています。保管場所は、現在盤尻地区に設置していますが、従事者の負担軽減を図るため、農村地区への設置について関係部署と協議を行ってまいります。

◆その他の質問項目

・デジタル田園都市国家構想について、堆肥・汚泥利活用について



自由民主党議員団

宮 利徳 議員



脱炭素社会実現へのまちづくりについて

問 昨年、(株)JEPPLANと、地域資源循環共生圏推進に関する包括連携協定を締結したことによりペットボトルをペットボトルに100%再資源化する取組が進められますが、これまでどう違うのか。なぜCO₂が削減されるのかを伺います。

答 これまで容器包装リサイクル協会を通じ再資源化しており、令和2年度実績としてペットボトルへの再商品化の割合は約3割、残りの7割はその他プラスチック製品や繊維などへの再資源化または焼却処理といったエネルギー転換となっています。一方でJEPPLANでは、独自のケミカルリサイクル技術を有し、ほぼ100%再商品化でき、半永久的に資源循環が可能となり、バージン素材からペットボトルを製造する場合と比較して、約47%のCO₂削減効果があります。

問 協定ではその他に、消費行動の機運醸成の推進に関することとして、市民参加型イベントの開催や環境教育の連携が報告されてますが、具体的に伺います。

答 令和5年度では、環境エネルギー展への参画、環境教育として小学校でのペットボトルの再資源化に関する授業などを計画しており、こういった連携を図り、市民意識の醸成に努めて参りたいと考えています。



JEPPLANのハチマーク
BRINGBOTTLESPOT

問 ゼロカーボンシティの実現に向けた、本市の意気込みを伺います。

答 本市の恵まれた環境を活かしながら、ゼロカーボンに向けた施策の推進が重要であり、それには、市民、事業者、市が共通の課題として認識し、国や道とも連携協力して本市の自然環境との調和を図りつつ、目標達成に向けて全体的な取組として進めて参りたいと考えています。

◆その他の質問項目
・ 恵庭市住生活基本計画の見直しについて



公明党議員団

生本富士代 議員



ケアラー支援推進事業について

問 本市は道内で介護認定率が一番低く、高齢者の自助努力によるものと捉える一方、認定手続きに踏み込めない家庭もあるのではとそく聞いており、他の地域から親を呼び寄せ同居し面倒を見ている人や、足が不自由な親のため、通院や買物の補助をしている50代前後の子ども世帯など、高齢者の介護を家族が担っている状況について所見を伺います。

答 高齢者介護の相談支援は、地域包括支援センターが様々な要望課題に対応し、市も困難事例については、センター職員をサポートして対応し、目の届かないところは各地区の民生委員と連携し情報収集をしています。恵庭市以外のお子さんが恵庭に住んでいる高齢者の介護等の相談は、声が届いていない現状もあり、見守り活動をしている町内会等の地域の情報を手がかりに、同センターが声掛けを行う取組を進めて参りたいと存じます。

問 ケアラー支援の条例化に向けた取組と、介護者を支援するための具体的な施策について所見を伺います。

答 現在、実施中の実態調査の結果を踏まえ検討し、その内容を盛り込んだケアラー支援行動計画や条例化を目指して参りたいと考えています。



在宅介護のイメージイラスト

問 ケアラー条例の制定は、市民にどのような影響をもたらすか伺います。

答 条例を制定することにより、ご苦労されているケアラーの方々の存在が明らかになり、全てのケアラーが孤立することなく介護や看護を必要とする家族等とともに健康で心豊かな生活を営むことで、将来にわたり夢や希望を持つて暮らすことができる社会が実現できると認識しています。

◆その他の質問項目
・ アピアランスケア助成制度の導入について、SDGsの観点から「制服リユース」の取組について



民主・春風の会

澁谷敏明

議員



自治体DXの取組について

問 本市における自治体DXの推進状況、現状と課題について伺います。

答 進捗状況については、令和3年度策定の恵庭市デジタル化推進計画に基づき、個別事業の検討や実施計画の策定を進めるとともに、証明書交付手数料のキャッシュレス収納や国が推奨する25の行政手続きのオンライン化については、令和5年度当初から開始できる見込みであり、自治体情報システム標準化・共通化やAI・OCR・RPAの利用促進、オープンデータの公開などの取組を行っています。現状と課題については、実施計画の策定にあたり、40程度の事業を選定し、個別事業の分析や関係課との協議を進め課題解決に向けて取り組んでいます。

問 DX推進の最終的な目標は、市民サービスの向上ですが、手続きのオンライン化の進行をどのように市民周知していくのか所見を伺います。

答 広報誌やHPで、オンライン申請の利便性を周知するとともに、受給者証や納付書などを発送するときに同封する案内文にQRコードを付けるなど、利

用者が容易にオンライン申請を行えるような工夫や仕組みを導入したいと考えています。



自治体DXイメージ

問 自治体DXの具体的な取組と今後の推進方法について伺います。

答 事業により準備が整った部門から開始するスモールスタートを採用し、スピード感を持ったデジタル化の推進と水平展開を図っていきます。今後の進め方としてデジタル化推進実施計画を策定し柔軟に対応するため、適宜実施計画の見直しや追加を行います。他市町村で効果を上げている技術や、国が新たに推奨する事業に注視し、本市ならではの自治体DXを進めて参ります。

◆その他の質問項目

・職員の勤務状況や次年度における人員の確保状況について、子育て世帯への支援策について、GIGAスクール構想について



市民と歩む会

柏野大介

議員



市内私有地におけるアスベストについて

問 アスベスト（石綿）は、その粉じんを吸入することにより、中皮腫等の重篤な健康障害を引き起こす恐れがあることから、現在は含有製品の製造や使用等が全面的に禁止されています。アスベスト飛散の可能性がある場合には、市民の生命を守る観点から、市がなんらかの対応を取るべきだと思いますが、代執行などの措置を行う上での課題について伺います。

答 第一義的には原因者が対応すべきものと考えており、国及び北海道がアスベストを飛散させた者に対し、対応を求めていくことになるが、本市においても連携・協力するものであり、代執行は根拠法令がないことから現状では、そのような対応をとることはできないと考えています。

問 市内私有地のサンプルを検査した結果、アスベストが検出されている。環境基本条例、公害防止条例の定義からすれば、条例が適用されるのではな

答 個別の事案の内容についてはお答えできませんが、現時点をもってアスベストが飛散するというのを、市の方で確認はしていないので、答弁は差し控させていただきます。



有害物質のアスベスト（石綿）

問 条例では、人の健康、生活環境に影響を及ぼす恐れがある場合、必要な措置を講ずることができるとしており、立ち入り検査などが可能です。調査は行うのか。市民の健康を守るために何ができるのかを考えて対応してほしい。

答 市として特定粉じんの飛散があったことを確認しているわけではありませんので、それをもって判断することはできないと考えています。



市民と歩む会

新岡知恵 議員



不登校対策について

問 中学校1校は別室登校対応してないという実態があります。別室登校を希望する子どもがいるのに、対応をしていないとしたら、問題です。市教育委員会として対応するように、学校に指導するべきではないかと思えますが所見を伺います。

答 別室登校ができてまだそれほど時間がたっておりませんので、今後は、市教育委員会がやらなければならぬこと、支援しなければならぬことを含めて、しっかりと各学校に別室登校を設置していきたいと考えています。

問 不登校の子どもの居場所として、図書館をもっと積極的に活用してはどうかと思えますが所見を伺います。

答 図書館の中にふれあいルームを置くことで、図書館にある本の活用だけでなく、各種ボランティア活動等々含めて、子どもたちに様々な経験ができることと考えておりますので、今後も図書館の活用について、検討して参りたいと考えています。



適応指導教室
「ステップルーム」

問 いじめ不登校等問題対策協議会に不登校支援に関わっている団体などを含めた中で、共有された情報を市教育委員会が窓口となって一元化して、関係部署の中で持っていくといった取組も必要だと思えますが所見を伺います。

答 保護者等が、相談に来た場合、こういう施設がありますよと紹介できるような資料等を作成することによって、保護者も一目でわかりますし、そのことから保護者も安心し、選択肢も広がると思いますので、いじめ問題等の協議会の中で、検討していきたいと考えています。

◆その他の質問項目

・地域公共交通の見直しについて、コンパクトシティと公共交通について、下水汚泥処理の現状について、下水汚泥堆肥の安全性について

一般質問・勇退議員のご紹介

勇退議員のご紹介

恵庭市政の発展に、永年寄与していただきましたことに、深く感謝申し上げます。

議会だより編集委員会



鷹羽 茂氏 (79)
当選回数 8回

議員定数を2回に亘って提案者代表として計5人減数したこと、一般質問、代表質問を一問一答に変えたことなどが思い出されます。議会改革は永遠のテーマだと思います。



林 謙治氏 (71)
当選回数 6回

組織エゴを排し、市民が真に公平・公正な社会を目指し、活動して来ましたが、今期を以て引退させていただきます。長期間皆様には大変お世話になりました。心より感謝致します。



岩井利海氏 (72)
当選回数 3回

12年間議員を務めさせていただきました。
60歳からの仕事でしたが、どの程度市に貢献できたか自分では評価できませんが、貴重な経験ができたことに、深く感謝申し上げます。



南出典彦氏 (39)
当選回数 1回

4年前、皆様の大きなご支援により当選させていただきました。様々なまちづくりを進めることができたのは、皆様あってこそであります。
本当にありがとうございました。



市民と歩む会
柏野大介
委員



効果検証に基づく観光振興について

問 令和5年度予算では、盤尻地区観光まちづくり事業が計上されていますが、令和4年度実施の花の拠点経済波及効果の調査結果も明らかにされておらず、盤尻地区の事業推進は拙速です。はなふるの収支改善など、観光投資の費用対効果を丁寧に検証した上で、慎重に進めるべきだと思えますが所見を伺います。

答 盤尻地区は、自然豊かな多くの観光資源を有しますが、年間を通じた集客・誘客には繋がっていない現状です。令和5年度予算では、観光振興策のイメージを共有するためのパース図作成や、旅行商品開発のためのモニターツアーの実施を予定し、知見を基に事業化の具体の議論を深め、はなふるの経済波及効果をしっかりと検証し、今後の盤尻地区観光まちづくり事業の推進に向け参考としながら、費用対効果等を検討していく必要があると考えています。



上空からはなふるの全景

問 収支差額、赤字は以前よりも増加しており、収支改善として旅先でふるさと納税ができる仕組みを千歳や北広島が導入しています。検討してはと思えますが所見を伺います。

答 ふるさと納税のオンライン寄付は近隣でも行っており、大変重要だと思っておりますので、調査研究をしたいと考えています。

問 10年前に2千万円から3千万円だった観光予算が、今は十倍以上に増え増額されるようになって10年近いが、なかなか成果が見えないなかで、それでも新たな観光投資を進めてよいのか伺います。

答 今後も恵庭の豊かな自然、地理的条件の良さなどを活かし、観光や交流人口、関係人口等々を増やすのが、私どものまちづくりの方向性と考え、観光政策を展開しています。

ハラスメントの根絶について

問 議会が要請した第三者委員会の調査からは、ハラスメント事案に対し、市が組織的に職員を守る姿勢が見えませんが、議会側が再発防止策を講じていくことは当然ですが、市としてもハラスメント事案に際し、職員を守る仕組みが必要ではないと思えますが伺います。

答 「恵庭市職員のハラスメント防止等に関する要綱」や「職場におけるハラスメントの防止に向けての方針」等により対策を講じており、今後も研修などを通じてハラスメントが発生しない組織風土の醸成を行い、ハラスメントの根絶に努めて参ります。

問 第三者委員会の中間報告書では、市職員へのアンケートで、他にもハラスメント行為があったと取れる記述があり、詳細な調査を行うべきと思えますが伺います。

答 市として、職員からの訴えや申し出を聞いていないところであることから、今現在のところ、詳細な調査の予定はございません。

問 行政の執行が不当な圧力によって歪められたのではないかと疑念を抱く。私も議会の一員として責任を感じるが、市としても、そうした行為を止めるべきだったのでは。再発防止の取組を伺います。

答 私どもは議会の第三者委員会の最終報告を待って、その判断をしたと思います。職員が心を病み、休職せざるを得なくなったことについて、職員を守る立場から責任を感じています。

職員を守る取組については、職員個人に任せるのではなく、組織が一丸となって組織として対応することにより、取り組んでいきます。

◆その他の質問項目

・妊産婦等の移動支援拡大について、児童クラブの環境改善について、市民参画の推進について、「未来投資」の視点に立った財政運営について、水道ビジョン改定と都市計画の整合について、公共発注における賃金水準の確保・向上について、地産地消と農福連携の推進について、市営住宅の優先入居による住居の確保について、ごみ処理経費の抑制と排出者負担原則の徹底について

自由民主党議員団
川原光男
委員

骨髄バンクドナー支援事業について

問 この事業は、マスコミに取り上げられ、市民からも高評価を得られたと感じていますが、継続性が大切だと思えます。どの様に提供者の善意を受け止め安心できる制度に組み立てようとしているか伺います。

答 骨髄等移植を待つ患者を救うため、多くのドナー登録が必要であり提供者の経済的・心理的負担の軽減等環境づくりが大変重要と考えています。道や日本骨髄バンク、日本赤十字社等と連携を図り、制度の推進に努めて参りたいと考えています。

あなたの善意が誰かを助ける
骨髄ドナー登録をお願いします

ドナーバンクパンフレット

問 献血の推進に取り組んでいる企業等において、ドナー登録も社会貢献事業と認知されれば、登録者が増えると思えます。社会貢献事業としての認知方法について伺います。

答 骨髄ドナー登録者の拡大、企業等のドナー休暇制度の導入促進の普及啓発にどのような方法が効果的であるか、市民等骨髄移植等への篤志の受け皿の仕組みについて、基金創設を含め先行自治体の取組を調査研究して参りたいと考えています。

献血会場に協力頂いている事業所、ドナー休暇制度の導入や骨髄バンク事業に理解のある企業等の方と直接お話しする機会を設ける等多くの方に骨髄等移植やドナー登録について、現状などを理解して頂くよう努めて参りたいと考えています。

問 ドナーへの助成制度を、道内で初めて創設した自治体として、骨髄バンク事業や骨髄移植等について、市民への一層の普及啓発を図り、ドナー登録のために使うという意図がはつきりわかる受け皿として、ドナー支援基金を北海道で一番に創設してはいかがか、所見を伺います。

不登校児童生徒にならないために

問 学びの保障への取組は理解できているが、不登校児童生徒とならないための根本的な対策について、議論が尽くされていないと感じられます。市教育委員会では、根本的な解決策に向けてどのような議論がなされているのか伺います。

答 不登校児童生徒への支援にあたり、学校への登校という結果のみを目標とするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指すことが重要であることから、市教育委員会としても、児童生徒の学びの保障や一人ひとりの状況に応じた支援を行ってききました。

各学校に対して、不登校の未然防止を図るため、全ての児童生徒が楽しく安心して豊かな学校生活を送ることができ魅力ある学校づくり、困ったときや不安な時にいつでも SOS を発信できる雰囲気のある学校づくりを目指すとともに、不登校の前兆があった時の早期発見や、早期家庭訪問などが重要であることを校長会議等で伝達し、各学校が校長のリーダーシップのもと、こうした施策を徹底し推進して参りたいと考えています。

問 不登校というのは悪いことだ、何か悪者にしてるような感じを受けています。不登校は決して悪いことではないというやり方があればいいと考えていますが、どのような支援策を考えているのか伺います。

答 不登校の原因は子ども達一人ひとり様々で、学校に行くことができない子ども達にとつて、不登校は充電期間であり、休養期間であるとも考えています。その子ども達にとつての不登校は個性であるとも捉えています。子ども達一人ひとりの多様な価値観を認め、個性を伸ばしている支援をして参りたいと考えています。

◆その他の質問項目

令和5年度の予算編成について、中小企業振興の促進について、ふるさと納税推進事業について、ガーデンフェスタ北海道2022開催後における花のまちづくりについて、焼却施設の長期包括的管理運営事業について、最少の経費で最大の効果を求め、経済性、効率性、有効性の追求について、駒場体育館の閉鎖から見える影響について



公明党議員団
松島 緑 委員



恵庭市デジタル化推進計画について

問 本市の自治体DXについて伺います。

答 本計画では、「デジタル技術を活用した新たな社会基盤の構築によるスマート自治体を目指す」ことを基本理念とし、デジタル化推進にあたっての基本方針を定め、個別事業の検討や実施計画の策定を進め、職員のデジタル化に対する意識の醸成や推進体制の整備に取り組み、更には、「証明書交付手数料のキャッシュレス収納」や「行政手続きのオンライン化」等、市民の利便性向上に高い効果が見込まれる事業については早期に着手するなど積極的に自治体DXを推進しています。

問 令和2年第3回定例会で、一般質問した書かない窓口が、令和5年度の恵庭市デジタル化推進計画案に盛り込まれています。導入の経緯について伺います。



年度末を迎えた市民課窓口

答 本市では、北見市の先進事例や国のプロジェクトを活用し、令和5年度中に市民課で書かない窓口の導入を検討しています。

まずは、市民課において、スマートフォンととして実施をしたいと考えていますが、その他として全庁的にどういった取組ができるかについても、この導入事例を参考に検討して参りたいと考えています。

問 市民の方が、窓口に来た時に、具体的には、どのような対応となるのか伺います。

答 申請書等に直接記載するのではなく、マイナンバーカードを利用し、市民情報を窓口で収集した上で、必要な申請書等を作成することになります。

マイナンバーカードがない場合でも対応できるように仕組みを構築できればと考えています。

地域防災力の向上について

問 避難所におけるペットの対応について、地域版避難所マニュアルではどのように記載されているのか伺います。

答 避難所におけるペットは家庭動物と表現しており、取り扱いについては、恵庭市地域防災計画および標準例の避難所運営マニュアルでは、介助犬や家庭動物の避難に当たっては、スペースの確保やルールを決めることにしています。避難所運営マニュアルの作成に際し、確保すべき部屋の一つとして、どこをペットのスペースにするかを、あらかじめ地域と学校で話し合い決めていきます。計画やマニュアルでは、一定程度、ペット対策について位置づけていますが、今後は、実働訓練でも、どういったことができるか検討して参りたいと考えています。

問 避難所運営での女性の視点は、子どもや高齢者、障がい者等災害弱者の視点を活かすことにも繋がってきます。女性参画の市の現状について伺います。

答 現在、女性の意見を具体的に取り入れてるといふ形はとっておりませんが、仮称ですが、「女性防災協議会」といった意見を聞く場の設置を考えており、令和5年度中に開催し、意見を取り入れたいと考えています。

問 情報伝達における新たな手法の取組については、防災ラジオ運用方法の検討という事でしたが、今後どのように検討されていくのか、具体的な進め方について伺います。

答 町内会連合会で、今年度、各町内会長に防災ラジオを整備する事業を計画していただいております。現物を配布する際に、市と地域FMが連携し、町内会長にラジオの使用方法を説明しております。今後については、実際に地域における防災訓練で活用していただき、訓練結果の検証や課題の整理を行ない、効果的な運用方法を研究していきます。

◆その他の質問項目

・予算編成について、財政状況及び今後の財政運営について、行政改革の推進について、物価高騰に伴う市民及び事業者への支援について、障がい者施策の推進について、住生活基本計画について、新たな観光施策の取組について、花の拠点運営事業について、子育て支援について、島松駅周辺整備事業について、地域公共交通計画の策定について、脱炭素に向けた取組について、ICT等の教育環境推進について、ふるさと教育について、安全教育の実施について、子供の体験学習について



代表質問席

民主・春風の会
武藤 光一
委員



R5年度予算編成の考え方について

問 新年度予算を「新たな時代に向かって着実に歩み続ける 令和5年度予算」自治体だからこそ担える包摂の社会づくりを目指して」として編成されましたが、どのような考え方で、何に重点を置き予算を編成されたのか伺います。

答 「全国都市緑化北海道フェア」を通して醸成された花のまちづくりの財産を新たな時代に繋げていくことや新型コロナウイルスと共存しながら、市民生活や地域経済、教育、福祉等の様々な分野において、自治体DXやゼロカーボンを進め、人と人とのつながりを大切にする包摂的社会の実現を目指すことを考え、これを実行する予算を編成したところです。

問 新年度予算の最優先事項は「誰もが豊かで健やかに暮らせる共生のまちづくり」であると捉えております。この柱の考え方で、主な事業の概要や予算はどの

ようになっているのか伺います。

答 子どもから高齢者まで全ての世代の誰もが家庭や職場、地域の様々な場所安心して過ごすことができるまちを目指した施策であり、このために、自治体だからこそ担える役割を果たして参りたいと考えております。

主な事業とその事業費は、支援対象児童等見守り強化事業で150万円、ケアラー支援推進事業で306万円、骨髄バンクドナー支援事業で60万円、学びの森等設置支援事業で432万円、繋がりサポート助成支援事業で245万円、高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業で1615万円となっております。

こういった事業を推進することにより、誰もが暮らしやすい、住みやすい公設の社会づくりを目指して参りたいと考えております。



はなふるセンターハウス

夜間休日急病診療所について

問 夜間休日急病診療所運営事業の現状と課題について伺います。

答 市では市民の夜間及び休日における内科・小児科系の急病について応急的な診療を行うため、「えにあす」内に「夜間・休日急病診療所」を開設しています。診療時間ですが、平日は20時から、土曜日は14時から、日曜・祝日は9時からで、いずれも翌朝7時まで、休診日は12月29日から1月3日までとなっております。診療体制は、夜間診療は医師1名、看護師1名、事務員1名で、土曜・日曜及び祝日診療は看護師2名体制で従事しています。医師は、恵庭市医師会に委託し、市内医師及び大学病院等から派遣を頂いており、看護師、事務員は恵庭市会計年度任用職員により配置しております。

課題は、診療所の医師派遣は市医師会に委託しておりますが、市内医師だけでは対応できないため、市外の大学病院等からの派遣を調整し、空白日のない診療体制を維持するための医師の確保が難しい状況となっております。

日急病診療所の診療体制に変更があるのか伺います。

答 現在は発熱症状のある患者は必要に応じてドライブスルー方式での診察や薬剤処方を行っていますが、5月8日以降の対応につきましては、これから発出される国からの通知等に基づき感染防止対策を講じ、診療体制の維持に努めて参りたいと考えております。

問 市民の安心安全の医療体制の環境としての夜間休日急病診療所の運営について、今後の方向性を伺います。

答 市民の誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、年間を通じて空白日のない医療体制を維持し、市医師会と連携し、今後も夜間休日急病診療所の安定的な運営に努めて参りたいと考えております。

◆その他の質問項目

・R5年度予算の財源について、中期財政収支見通しとの比較について、公用スマートフォン、消費者対策、ふるさと納税、マイナンバーカード、地域福祉事業、有害鳥獣等駆除、花の拠点、公園施設、文化振興事業、介護保険、後期高齢者医療

問 新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行しますが、夜間休

2月

- 2 ● 全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会、第105回理事会、第86回総会、意見交換会
- 7 ● 令和5年北方領土返還要求全国大会
- 9 ● 全国市議会議長会第230回理事会、第114回評議委員会、全国市議会議員互助会第9回代議員会
- 14 ● 第三者委員会に係る協議会
- 15 ● 議会運営委員会
- 16 ● 議場コンサート（試行）、第1回定例会初日（執行方針、議案審議）、予算審査特別委員会、常任委員長会議
- 21~24 ● 一般質問
- 27 ● 第三者委員会に係る協議会

【臨時議会の開催について】

改選後初の臨時議会では、議長・副議長の選挙をはじめ、各常任委員会の委員構成、特別委員会の設置や各種委員会への委員の選任等、新しい市議会の構成が行われます。日程は、現在調整中です。

【令和5年 第2回 定例会の日程について】

この度の市議会議員選挙に伴い、5月下旬に日程が決定する予定ですので、日程等のお問合せは、議会議務局（TEL.33-3131/内線3211・3212）までご連絡ください。

【令和4年度議会の請求に基づく監査結果報告】

- 2月10日 報告書 受領

【恵庭市議会議員による市職員へのハラスメント問題に関する第三者委員会】

- 2月24日 中間報告書 受領
- 3月13日 最終報告書 受領

第三者委員会5回、
ヒアリング7回実施

※報告書は恵庭市議会
ホームページに掲載



3月

- 1~3 ● 予算審査特別委員会（個別質疑）
- 2 ● 第三者委員会に係る協議会
- 8 ● 総務文教常任委員会
- 9 ● 厚生消防常任委員会
- 10 ● 経済建設常任委員会
- 13 ● 基地特別委員会、議会運営委員会（意見案調整等）
- 14 ● 予算審査特別委員会（代表質問）、議員会、森林・林業・林産業活性化推進議員連盟、スポーツ振興議員連盟、防衛議員連盟、日台友好議員連盟役員会
- 15 ● 予算審査特別委員会（代表質問・採決）、議員会、森林・林業・林産業活性化推進議員連盟、スポーツ振興議員連盟、防衛議員連盟、日台友好議員連盟定期総会
- 17 ● 議会運営委員会、第三者委員会に係る協議会
- 20 ● 第1回定例会最終日（審査報告、議案審議）
- 24 ● 会派交渉会

4月

- 6 ● 会派交渉会
- 28 ● 北海道市議会議長会道西支部会議（石狩市）

恵庭市議会議場コンサート（試行）を開催しました

恵庭市議会では、市民の皆様には議会を身近に感じていただくために、議場コンサートを開催しています。

4回目となった今回は、フルートとギターによるとても美しくやさしい響きが、議場を包み込みました。



編集後記

令和5年度の恵庭市のまちづくりに係わる予算審査議会が終了しました。

話題の内容は、予算編成における昨年度に開催されました「ガーデンフェスタ北海道2022」後に於ける「花のまちえにわ」の新たな時代に向かってと、「人と人との繋がりを大切にしたい」の社会的実現の考え方についての確認と共有するための議論がなされました。

また、恵庭市民よりお叱りを頂く「パワハラ問題」についても、議会監査請求に基づく監査結果報告書と第三者委員会からの恵庭市ハラスメント事案に関する意見書を頂き、議会として「議員辞職勧告決議案」の可決、以後の議会活動の戒めとなる「恵庭市議会のハラスメント根絶に関する決議案」をも可決し、議会としての姿勢を明らかにした第1回定例会となりました。

また、改めて改選後の新しい編集委員会より、市民の皆様にかれた議会を目指した議会だよりを充実させて参ります。

（川原 光男）

市議会だより編集委員会